

2022年11月24日

第6回 放送番組審議会 議事録

○日 時：2022年11月24日(木) 19時～20時 / 成美教育文化会館 3F 研修室

- 内 容
1. 議長挨拶、新規委員会メンバーおよび TOKYO854 出席者紹介
 2. 直近の事業概況報告
 3. 特定番組へのご意見・ご感想 ※委員は事前に番組を聴取済み
 4. 放送番組全般へのご意見・ご感想・Q&A

○委員会出席者

- 井上淑子(委員長) / 東久留米市文化協会 副会長
植田貴俊 / 清瀬市役所 シティプロモーション推進担当部長
島崎修 / 東久留米市役所 生涯学習課長
栗山丈弘 / こだいら観光まちづくり協会代表理事
長谷川達人 / 清瀬市 みんなのタコ公園 代表 ※新任
※新井啓明(ルネこだいら 事業課長)は所用のため欠席

○TOKYO854 出席者

- 高橋靖(代表取締役) 土田健太郎(取締役) 陰山ひとみ(事務)

1. 出席者紹介

2. TOKYO854 営業概況 / 高橋代表より報告

昨夏のエリア拡大に伴い、番組審議委員としても清瀬と小平の方にも参加してもらった。昨年と比較して番組数が1.5倍に。スポンサー付き番組が増加。TOKYO854という局称に変更後、清瀬や小平で知ってもらえるようになってきた。

それに伴い、スポンサーになってもらえたことも。

イベントでのPRの機会など知名度を上げるということにおいては、苦戦中だが、その中で、清瀬市役所で作ったホップをもとに、清瀬ホップの清々ビールを制作し、清瀬ふれあいまつりで330杯を4時間で完売。良い反響があったので第2弾も考えたい。

胸を張って黒字ですと言えるほどではないが、改善してきている。

本日は忌憚のない意見感想をお聞かせください。

3. 特定番組への委員からのご意見・ご感想 ※委員は事前に番組を聴取済み

番組：「くるめラニュース by 北多摩経済新聞」

毎週木曜日 13時～13時54分 生放送

*弊社グループ団体・北多摩経済新聞（ネット新聞）と連動して、地域の皆様に役立つ様々な情報を生放送でお届けしています。

（井上委員からざっと内容振り返り）

西武線についての話、ウクライナ情勢についての話（クリミア大橋爆破後だった）豊べりを使った作品、10年後のわが子へ、清瀬市の送迎バスの取り組み、交通情報、天気予報、鳥かつの話など。

（植田委員）番組「はくはくラジオ」とはまた志向が違う、本当のニュース番組のような形。放送エリアの旬の情報が発信されて、面白く聞きました。「ラジホンボタン」の取り組みが続いていくと、リスナーは地域をより身近に感じられるのではないかと。

ウクライナ情勢はけっこうきわどい話。ああいう話を番組の中でできるのだなと思いました。

（井上委員）私もその部分はどこまで発言されるのか聞き入った。どこまでご意見をおっしゃるのか、良いなと思って聞いていた。

（栗山委員）北多摩経済新聞なので地域情報かと思ったら、世界情勢の話題から入った。意外だった。バスのところもかなり掘り下げていて、そのやりとりや議論は「TV タックル」的な要素もあって面白かった。バスの話題で、技術的な部分が問題になったけど「技術の使い方としてはあまりいいやり方じゃないんじゃないか」と言った。そこまでつっこむんだと思ひ、面白かった。

どんな人が話しているのか興味が湧いた。ホームページを見たが、澤田さんも岡さんもいなくて残念でした。また、内容的に午後1時だと、聞ける人がいるのか疑問にも思った。時間帯と内容をどう考えながらやっているのか。

→（高橋）北多摩経済新聞は「みんなの経済新聞ネットワーク」のフランチャイズのようなもの。厳密にエリアを守らなくてはならないもので、当初は北多摩経済新聞に掲載された記事を発信していたが、「ラジオだし」ということで話題の間口が広がっていった。

放送時間というのは、再検討する必要があるかもしれない。

1月から再放送枠を設けようとしている。翌朝6時が候補。

（長谷川委員）滑舌が気になった部分がある。バスの話題で「雇用が生まれる」というような話題のとき、具体的な数字やデータがあれば、発信しただけでなく、その次の展開に広がるのかなと思いました。

（井上委員）

多岐にわたるネタは選ぶ基準があるのか

→（高橋）北多摩経済新聞の記事から気になったものをピックアップしている。

3. 放送番組の紹介 ※局長不在で割愛

4. 放送番組全般へのご意見・ご感想・質疑応答

(植田委員) 番組量が 1.5 倍ということで、スタジオにも活気が出てきたと感じている。地域に根差した放送局として定着していけるお手伝い如果能したら。

(島崎委員) SNS を見てイベントに参加したり、ラジオで紹介していた場所に実際に行く楽しみができた。ふるさと村のお祭りに行ったり、そのまま気になっていた、たけのこ公園にも行ってみた。子どもと一緒に出掛けたが、子どもは楽しそうに駆け回っていた。これを機会に近くで面白そうなところにハッシュタグをつけていけばぐいぐい展開していけるのではないか。

(井上委員) 今まで東久留米の住人として、東久留米の文化のことを考えていたが、放送エリアが広がり、清瀬、小平の話題も耳に入るようになり「地域」をより意識するように。

(栗山委員) 市制 60 周年の絵画コンクール授賞式。絵のコンクールをラジオで取り上げてくれたのがうれしい。ほかのメディアはいなかった。わざわざ足を運んでくれたのがうれしかった。

→「ゆったり」の放送を始めて、そこで紹介した場所取材に出かけることも多くなった。

(長谷川さん) 中学校の職業体験、タコ公園来た子どもたちに市場へ買い出し、商店会長へのあいさつ、商店会の成り立ちなど、町がどんなふうになっているのか知ってもらった。最後には柳瀬ゴローさんにインタビューしてもらったものが、28 日に放送される予定。12 時の「ゆったり清瀬」なので給食の時間に流してもらったかったが、給食が 12 時 40 分開始と時間が合わなかった。学校で流してもらえたら、子どもたちにも一気に広がると思うが。

→(高橋) 学校との連携はいろいろ考えている。過去にはステイホーム中の子どもたちに向けて小中学校の先生が番組をしたことも。

→(土田) くるめラキッズを紹介。ぜひ、子どもたちを紹介してほしい。

→(陰山) ちゃんと話せるのか心配する親御さんが多いが、実際に出てもらおうと「こんなに話せるとは思わなかった」「こんなこと考えてたんだ」「出演後に自信がついたみたい」などの感想をもらう。

→(島崎) 教育委員会にも在籍しているが、自分の意見を言える子が少ない。そういう意味では教育に貢献している番組なのかも。

→(井上さん) 放課後の子どもたちへの元に収録に行ったらどうか。

—以下は委員との Q&A—

Q 高橋 表紙の写真は地域の名所で撮影。「ここがいいよ」を教えてください。個人的に教えてください。

A (島崎さん) ビュースポットをまとめた資料があるので送ります。

Q 井上さん スポンサーは増えていますね。

A 高橋 加盟店としては、横ばい。継続的にスポンサーしてくれている企業のほうが多い。夕方5時台までは地域情報中心、以降は特化番組。地域の人が出ていれば、ローカルな話題でなくてもいいかも。土日の再放送枠が少なくなった。第2スタジオができて収録番組も増えるのではないかと。1月には24時間化を目指している。24時間化は災害への対応が迅速になる意味合いがある。

以上

・上記の議事録は、以下の方法で公表します。

1. 局の情報番組等で紹介
2. 書面にて局で保管 常時閲覧可能
3. インターネット等で広く周知